

ユーシン

景況レポート

Number.114
(2022.10~12月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業231企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし

概況(10月▶12月期)

業況は、卸売業を除く全業種で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△18.2と、2022年7~9月期(前期)の調査より6.6%改善し、景況感は大幅に良化しました。

業種別では、卸売業で前期比8.3%低下しましたが、製造業で同比9.7%、小売業で同比7.4%、サービス業で同比6.4%、建設業で同比11.2%、不動産業で同比11.1%改善しました。

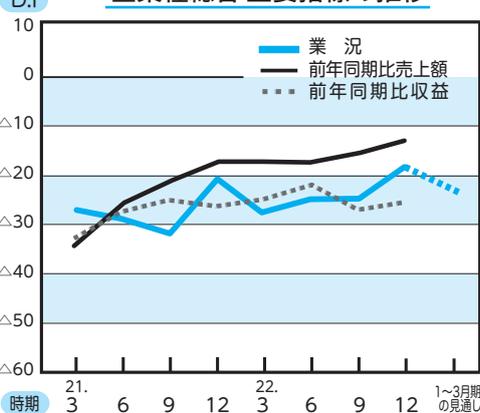
項目別では、売上額判断D.Iが△8.2と前期比0.1%改善、収益判断D.Iが△15.2と同比6.5%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.6、前期比3.1%改善、同収益判断D.Iが△25.1、同比1.9%改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△10.0と前期比0.9%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比1.3%やや減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が前期比0.9%改善しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が33.8%、「原材料高」が32.5%、「同業者間の競争激化」が27.7%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「2023年(令和5年)の経営見通し」について、日本の景気をどのように見通していますかの質問に対し、「やや悪い」との回答が37.7%と最も多く、次いで「悪い」との回答が34.6%という結果となりました。

◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

全業種総合 主要指標の推移



3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

業況の見通し判断D.Iは△22.5、当期実績比4.3%低下の見込

来期は、卸売業で横ばい、製造業・小売業・サービス業・建設業・不動産業で低下を見込んでいます。

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.7%、収益判断D.Iでは同比2.5%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.1%低

下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.6%低下、残業時間判断D.Iが同比1.3%改善の見通しとなっています。当面の重点施策では、「経費の節減」が58.4%、「販路を広げる」が34.2%、「人材を確保する」が19.0%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

業種名	時期	4年7月~9月	4年10月~12月	5年1月~3月 見通し	概要	要
総合					業況判断D.Iは、6.6%改善し△18.2。来期は、4.3%低下し△22.5の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、9.7%改善し△16.7。来期は、4.1%低下し△20.8の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、8.3%低下し△33.3。来期は、横ばいで△33.3の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、7.4%改善し△34.1。来期は、4.9%低下し△39.0の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、6.4%改善し△22.6。来期は、3.2%低下し△25.8の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、11.2%改善し5.6。来期は、5.6%低下し0.0の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、11.1%改善し0.0。来期は、11.1%低下し△11.1の見通し。	

好調 ← → 低調 / → 業況改善 → 業況悪化 → 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業況】

10~12月の実績	11.1	61.1	27.8
1~3月の見通し	9.7	59.8	30.5

【売上額】

10~12月の実績	8.3	68.1	23.6
1~3月の見通し	8.3	64.0	27.7

【原材料価格】

10~12月の実績	58.3	40.3	1.4
1~3月の見通し	44.4	55.6	0.0

【収益】

10~12月の実績	6.9	65.4	27.7
1~3月の見通し	9.7	61.2	29.1

■ 増加・やや増加(良い・やや良い)

□ 変わらず(変化無し)

■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△16.7、前期比9.7%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△15.3と前期比4.1%、収益判断D.Iが△20.8と同比12.5%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△16.7、前期比11.1%、同収益判断D.Iが△31.9、同比9.8%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.9と前期比横ばいで、人手不足感の解消には至っておりません。また、前期比残業時間D.Iは△4.2と前期比4.1%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が23.6%（前期19.4%）、「予定あり」が23.6%（同19.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.7%（前期8.3%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が52.8%、「売上の停滞・減少」が36.1%、「利幅の縮小」が26.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

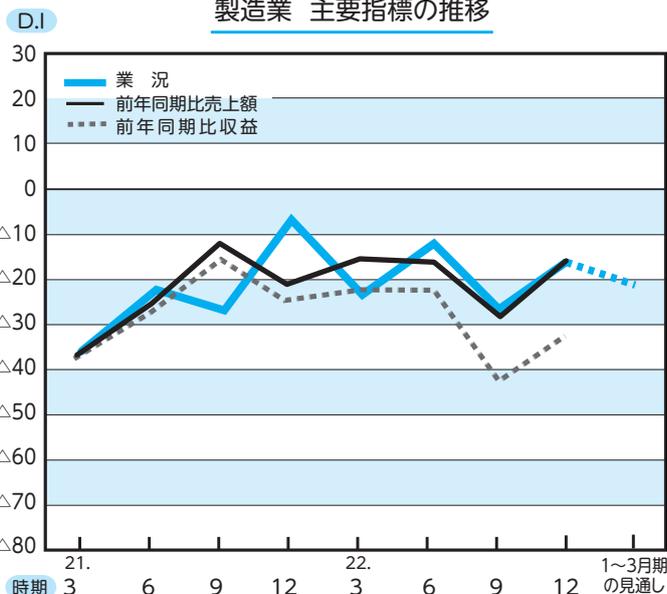
業況の見通し判断D.Iは△20.8、当期実績比4.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.1%低下、収益判断D.Iが同比1.4%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比6.9%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比4.2%低下、残業時間判断D.Iが同比1.4%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が66.7%、「販路を広げる」が41.7%、「人材を確保する」が20.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



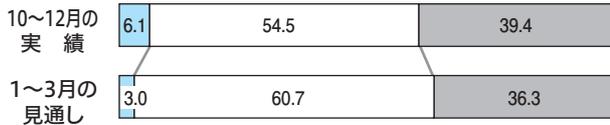
調査員のコメントから

コロナウイルスの影響が落ち着きつつある一方で、ロシア・ウクライナ情勢の問題により材料の入荷不足や遅れが改善されてない。また、材料費高騰により収益性悪化となっている。

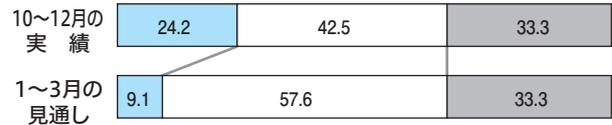
■卸売業

回答企業数33企業(回答率100%)

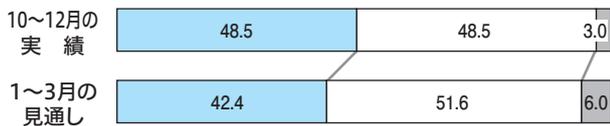
【業況】



【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△33.3、前期比8.3%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△9.1と前期比9.1%、収益判断D.Iが△15.2と同比2.7%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△18.2、前期比5.7%、同収益判断D.Iが△27.3、同比5.4%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.1と前期比6.0%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.0と前期比3.0%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.1% (前期9.4%)、「予定あり」が12.1% (同9.4%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.1% (前期3.1%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が48.5%、「利幅の縮小」が33.3%、「仕入先からの値上要請」が30.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

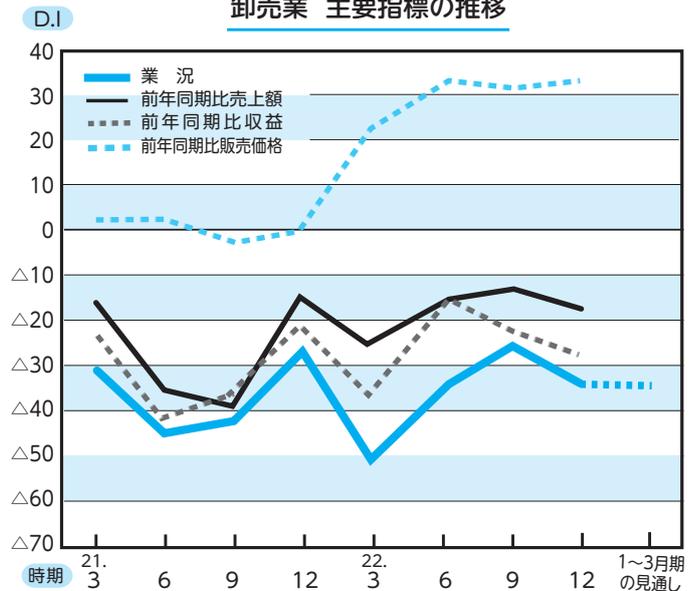
業況の見通し判断D.Iは△33.3、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比15.1%、収益判断D.Iが同比12.1%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比12.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比3.1%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.6%、「販路を広げる」が51.5%、「情報力の強化」が18.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



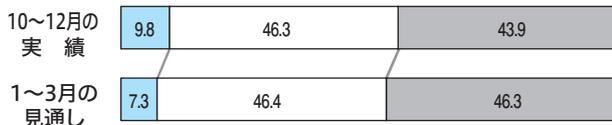
調査員のコメントから

顧客(売上)が戻りつつあり業況は上向き傾向。しかし、仕入価格の上昇が課題で先行き不安である。

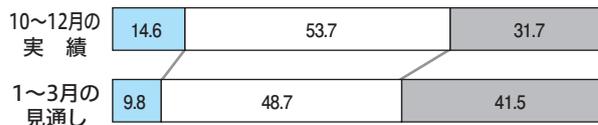
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

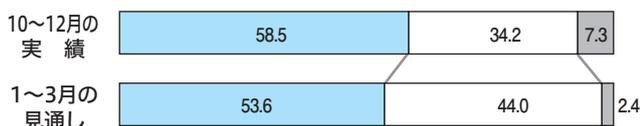
【業 況】



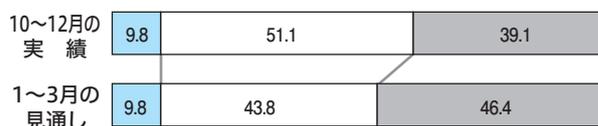
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△34.1、前期比7.4%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△17.1と前期比9.8%低下、収益判断D.Iが△29.3と同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△29.3、前期比9.8%低下、同収益判断D.Iが△39.0、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△4.9と前期比4.9%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△4.9と前期比2.4%改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.8%（前期9.8%）、「予定あり」が2.4%（同2.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.5%、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ31.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

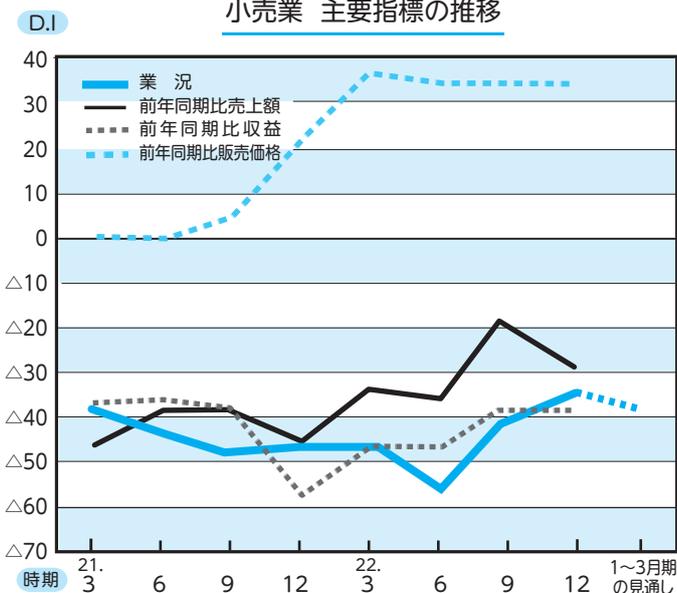
業況の見通し判断D.Iは△39.0、当期実績比4.9%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比14.6%、収益判断D.Iが同比7.3%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.4%、「品揃えを改善する」が34.1%、「売れ筋商品の取扱」が19.5%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移

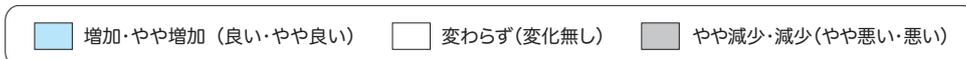
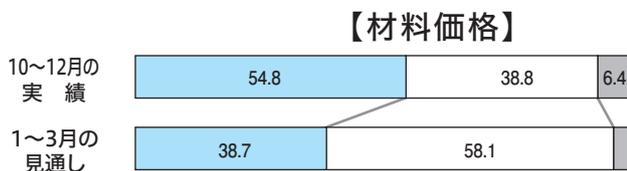
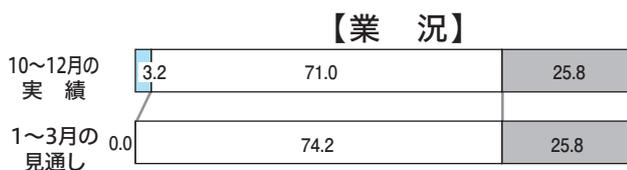


調査員のコメントから

原油価格の高騰が経営に大きな影響を与えている。更に、商圏人口の高齢化に伴い業況は悪化傾向にある。

■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)



景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△22.6、前期比6.4ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△3.2と前期比横ばい、収益判断D.Iが△9.7と同比3.2ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが3.2、前期比3.2ポイント改善、同収益判断D.Iが△16.1、同比12.9ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.1と前期比3.2ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△6.5と前期比6.5ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が3.2%（前期3.2%）、「予定あり」が0.0%（同3.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.7%（前期6.5%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」・「材料価格の上昇」がそれぞれ41.9%、「人手不足」が22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

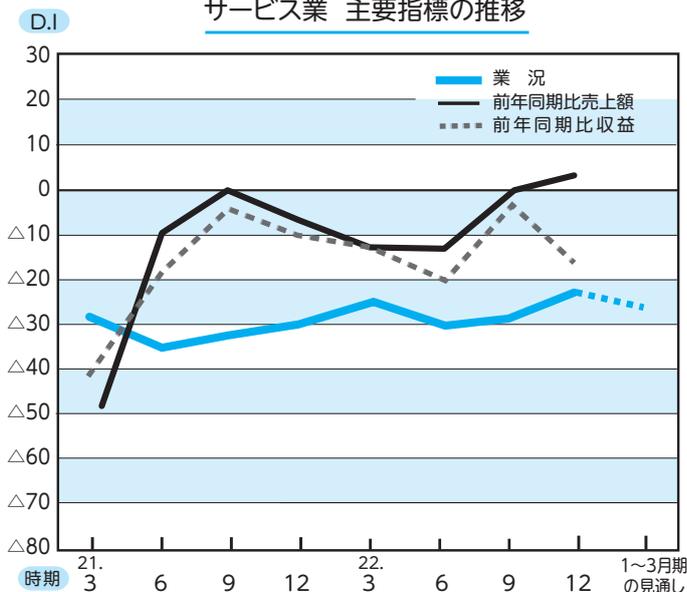
業況の見通し判断D.Iは△25.8、当期実績比3.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比6.4ポイント、収益判断D.Iが同比12.9ポイントともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比12.9ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比6.5ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が45.2%、「経費の節減」が38.7%、「宣伝・広告の強化」・「人材を確保する」・「教育訓練を強化する」がともに16.1%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



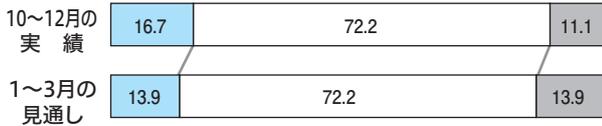
調査員のコメントから

コロナウイルスの影響により一時期減少傾向にあった顧客も戻りつつある。しかし、円安・インフレの加速により今後の景気見通しが立たないため、経費削減に努め売上計上を目指す。

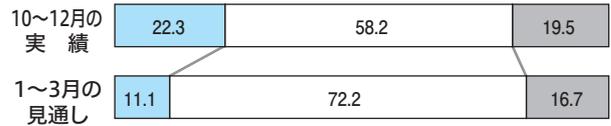
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

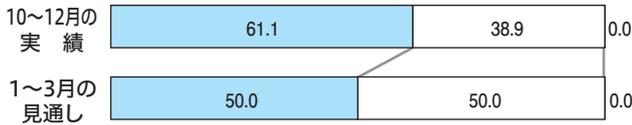
【業況】



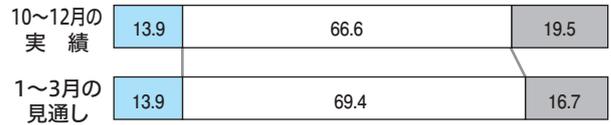
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは5.6、前期比11.2%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが2.8と前期比5.6%改善、受注残判断D.Iが△8.3と同比2.7%低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△2.8、前期比19.4%、同収益判断D.Iが△13.9、同比16.7%改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比8.3%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは2.8と前期比5.5%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%(前期19.4%)、「予定あり」が11.1%(同19.4%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.6%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が66.7%、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」がそれぞれ30.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

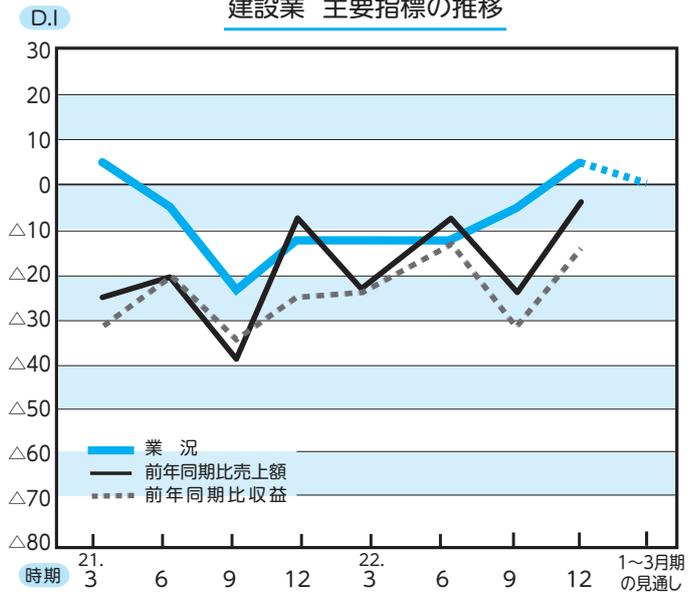
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比5.6%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.4%低下、収益判断D.Iが同比2.8%改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比11.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比8.3%低下、残業時間判断D.Iが同比2.8%上昇の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.1%、「人材を確保する」が38.9%、「販路を広げる」が27.8%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



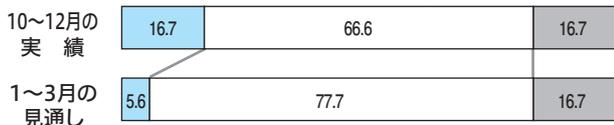
調査員のコメントから

公共工事の受注は堅調に推移、民間からの受注も増加傾向にある。しかし、材料費が高騰しており利幅が縮小している。また、慢性的に人材が不足しており人材の確保が課題である。

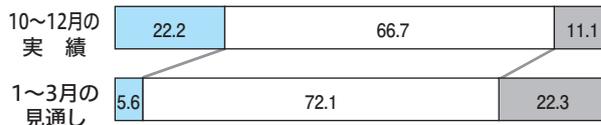
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

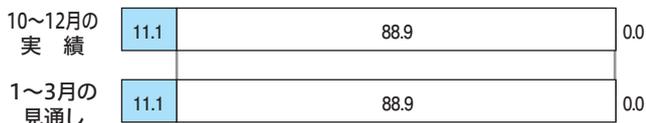
【業況】



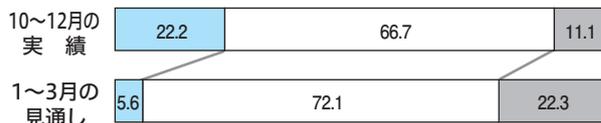
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは0.0、前期比11.1%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが11.1と前期比11.1%、収益判断D.Iが11.1と同比16.7%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが5.6、前期比16.6%、同収益判断D.Iが0.0、同比16.7%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比横ばいで、人手不足感の強まりに変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは△11.1と前期比11.1%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1% (前期22.2%)、「予定あり」が16.7% (同16.7%)を示しています。

経営上の問題点では、「大手企業との競争激化」が33.3%、「同業者間の競争激化」が27.8%、「人手不足」・「商品物件の不足」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

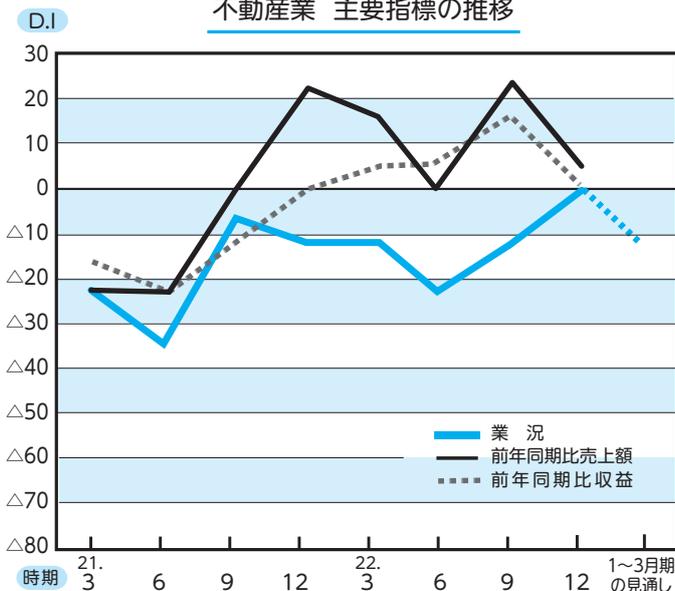
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比11.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比27.8%、収益判断D.Iが同比27.8%ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.6%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が50.0%、「販路を広げる」が44.4%、「経費の節減」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



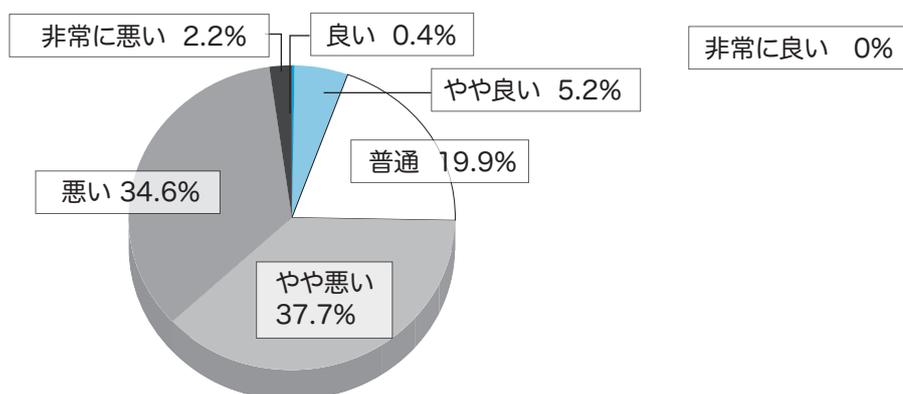
調査員のコメントから

地域により格差あるが、不動産物件の需要は旺盛で、賃貸物件の空室もそれほど多くなく業況順調である。

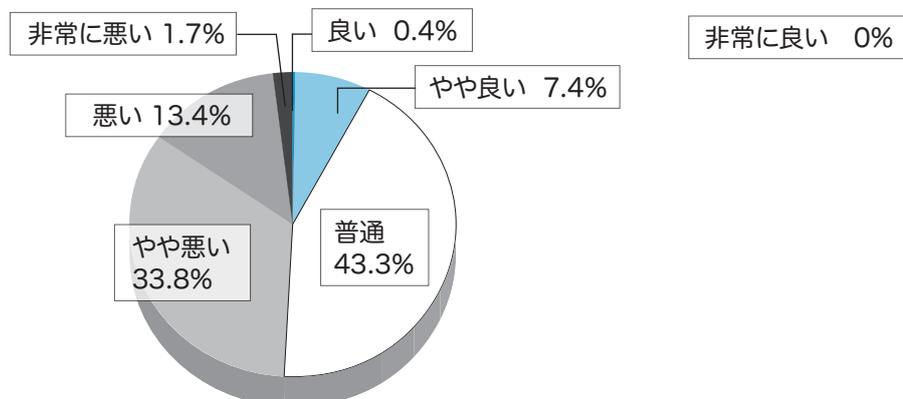
特別
調査

2023年(令和5年)の経営見通し

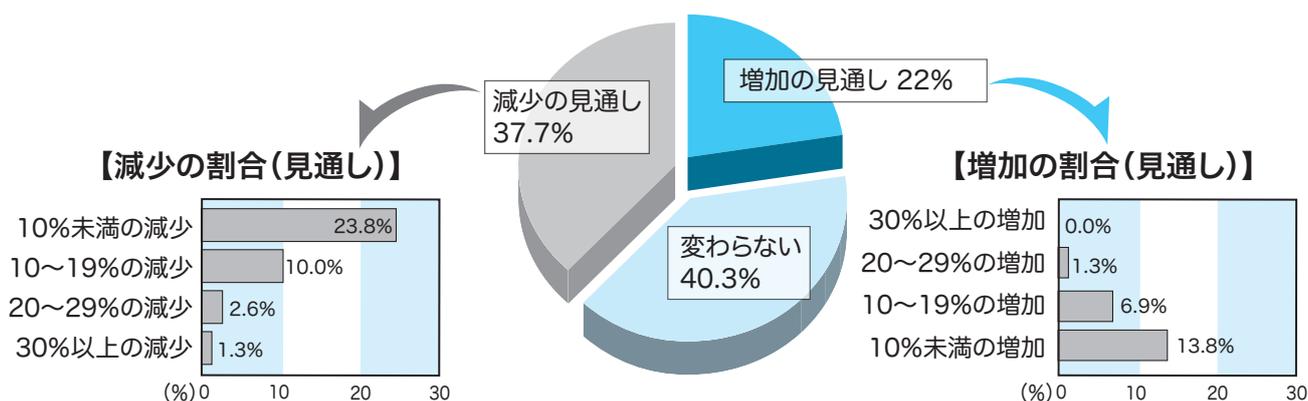
問1 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。



問2 貴社では、2023年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

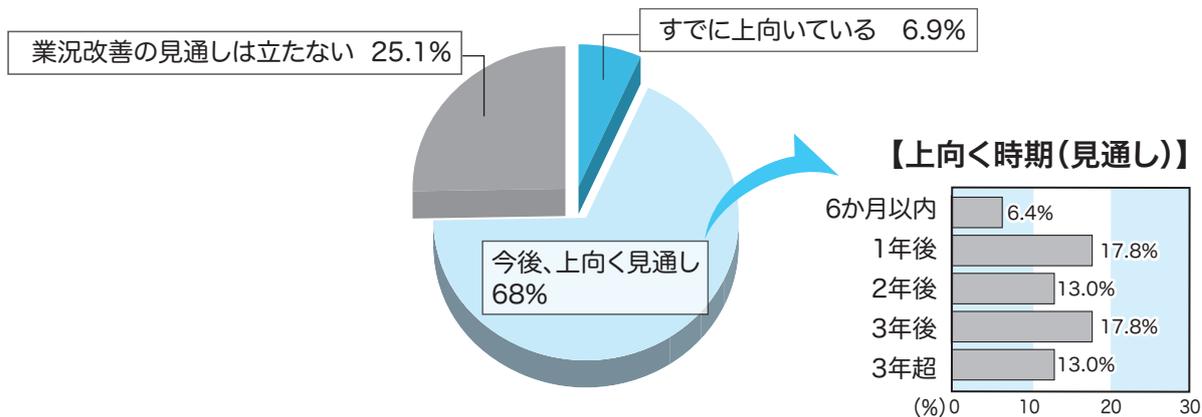


問3 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



問4

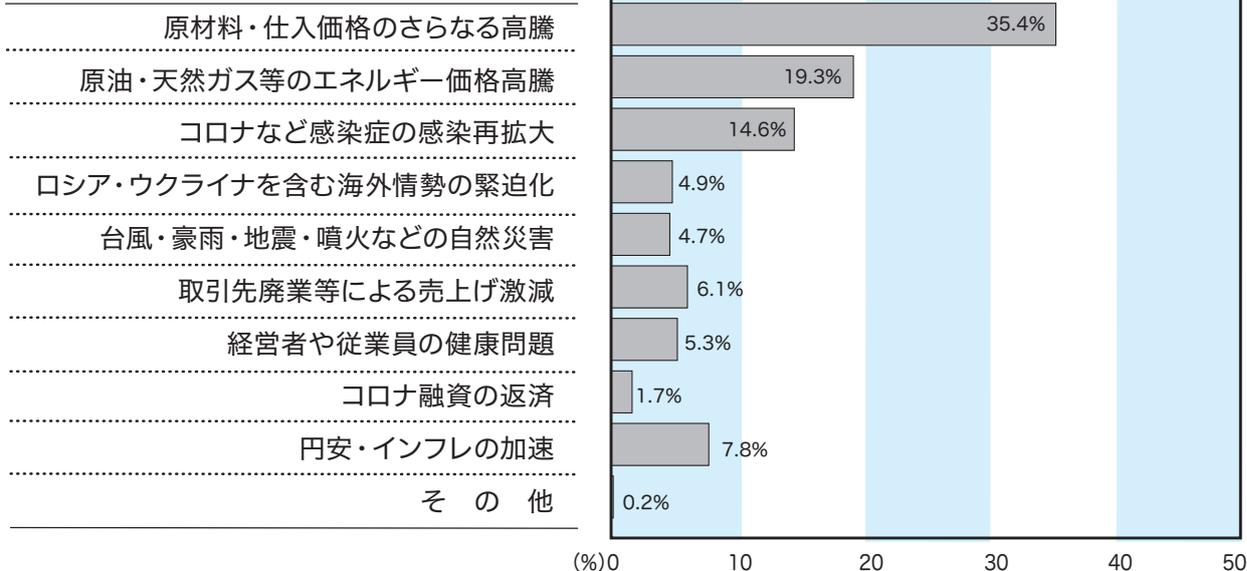
貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。
3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答・3つ以内)



明けましておめでとうございます

今和5年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
当金庫は昨年5月26日創立120周年を迎えました。これからも
地域の皆さまとともに歩んでまいります。
変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫
理事長 石塚 清博



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が18歳以上の方（但し、一般個人ローンは20歳以上の方）
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年 **1.50%**
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン



ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

ブライダルローン



ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

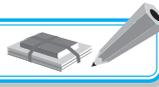
カーライフプラン



ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

教育プラン



ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **16**年以内

子育て応援プラン



ご融資金額 **100**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

リフォームプラン



ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **15**年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>